

2010年度

科目名	文化財資料論 I (考古学)			
担当教員	犬木 努			
配当	文財2		コード	31250
開期	後期	講時	水曜日1限	単位数 2
授業テーマ	考古遺物の製作技術について			
目的と概要	遺跡から出土する品物は、材質別に、鉄器、青銅器、土器、石器などに分けられる。この講義では、それぞれについて、その製作技術、変遷観、年代、使用法、分布、歴史的意義などを概観していく。			
成績評価法	夏期休暇に課すレポートと学年末に行う筆記試験によって行う。平常点も加味する。			
テキスト	使用しない。講義中にプリントを配布する。			
参考書	講義中に適宜指示する。			
履修に当たっての注意・助言	私語など授業態度の悪い学生は、教室の外に出てもらうことがある。			
講義計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 考古資料とは何か 考古学の対象、遺跡・遺構・遺物、考古資料の特質 3. 考古学と層位論 遺跡と遺物、遺物の出土状況、廃棄と埋没 4. 考古学と型式論・分類学 遺物の類似と差異、遺物のカタチの変化 5. 考古学における時間 実年代と相対年代、理化学的年代 6. 考古学と年代決定 相対年代と絶対年代、実年代の決定 7. 石器の製作技術 8. 土器の製作技術 9. 瓦の製作技術 10. 青銅器の製作技術 11. 鉄器の製作技術 12. 木器の製作技術 13. 石製品の製作技術 14. 石製模造品の製作技術 15. まとめ <p>※各々の項目を数回にわたって行う場合もある。また順番・内容については変更する場合がある。</p>				